



News release :

2026. 4. 22

【参加者募集中】

近江を味わうーフナズシと地酒ー

琵琶湖汽船株式会社

〒520-0047 滋賀県大津市浜大津 5-1-1
TEL. 077-522-4115 / FAX. 077-524-7896
<https://www.biwakokisen.co.jp/>

船舶営業部 船舶企画課

～ びわ湖に抱かれて、びわ湖を五感で味わうカルチャークルーズ ～

近江を味わうーフナズシと地酒ー

参加者募集中！

2026年5月17日（日）限定運航



琵琶湖汽船株式会社（本社：滋賀県大津市浜大津 社長：金澤 一徳）は、2026年5月17日（日）に運航する「近江を味わうーフナズシと地酒ー」の参加者を募集しています。

びわ湖には、世界的にも極めて希少な食文化が息づいており、その代表がフナズシに象徴される「なれずし」です。漢字では「熟れ鮓（鮓）」「馴れ鮓（鮓）」と書き、魚を塩と米飯で乳酸発酵させた伝統食を指します。湖国を代表する食文化として1998年（平成10年）に滋賀県の無形民俗文化財に、さらに2023年には「近江のなれずし製造技術」が国の登録無形民俗文化財に登録されています。

本クルーズは、大津港を14時に出港します。航行中は、カルチャー講師の大沼芳幸氏がフナズシや湖魚料理など、びわ湖ならではの食文化を紹介しながら、びわ湖唯一の有人島「沖島」へ向かいます。島内では、沖島資料館で歴史や漁具をご覧いただくほか、自由散策で島の暮らしや雰囲気を感じていただけます。

そして、沖島を出港したあとは、湖西へと進路を取り、豊臣秀頼ゆかりの近江最古の大社「白鬚神社」の湖上大鳥居を目指します。船内では、創業200余年を誇る東近江市の老舗・喜多酒造の喜多会長が、近江の地酒の「過去・現在・未来」についてお話しします。また、滋賀県内で初めてブドウ栽培から醸造までを一貫して行うワイナリー「空色ワイナリー」の三崎清隆氏もゲストとして乗船します。

お食事には、沖島のフナズシをはじめ、県産食材を使ったおつまみ、日本料理「新月」のお弁当をご用意しています。さらに、地元の人気酒店「小川酒店」がセレクトした近江の地酒を、交流会スタイルでお楽しみいただけます。

びわ湖の美しい景色とともに、近江の食文化とびわ湖の魅力を五感で味わう贅沢なひとときをお過ごしください。クルーズの詳細は次頁の通りです。

④びわ湖の美しい景色に心癒される！

大津港（南湖）から琵琶湖大橋をくぐり抜け、北湖にある沖島へ。琵琶湖を縦走する途中には、世界遺産の比叡山や近江八景の1つ「浮御堂」などをご覧いただけます。また「近江の叡島」とも呼ばれる「白鬚神社」を湖上参拝したあとは、美しいサンセットに見送られながら、大津港へ帰港します。



《カルチャー講師》 大沼 芳幸 氏

琵琶湖をめぐる文化史を、考古・歴史・美術・民族・漁業環境などはば広い視点から研究し、その成果の普及活動を行っている。とくに、精神文化の視点から独特の城郭論を展開するほか、白洲正子の作品を通じての琵琶湖文化の魅力発信に力を入れている。『白洲正子と歩く琵琶湖』シリーズ、『琵琶湖八珍』『近江の聖徳太子』『明智光秀と琵琶湖』など著書多数。

NPO 法人歴史資源開発機構主任研究員／滋賀県立安土城考古博物館元副館長

ブログ⇒「オオヌマズの玉手箱」<http://omi-rekishi.jugem.jp>



ご予約・お問い合わせ： 琵琶湖汽船(株) 予約センター TEL 077-524-5000 (9:00-17:00)

公式ホームページからのご予約も承ります

https://www.biwakokisen.co.jp/season_event/59485/

大津港までのアクセス： 京阪・びわ湖浜大津駅より徒歩約3分

JR大津駅よりバス約5分（浜大津バス停車）

備 考： ※天候の状況により航路・行程を変更する場合があります。
※最少催行人員に満たない場合は、催行を中止する場合があります。
※飲酒をとまなうイベントのため公共交通機関をご利用ください。

企 画： NPO 法人歴史資源開発機構

運航実施： 琵琶湖汽船株式会社

※画像はすべてイメージです
以 上

《 本件についてのお問い合わせ先 》

琵琶湖汽船株式会社 船舶営業部 船舶企画課

担当：森・高橋

kikakukoho@biwakokisen.co.jp

滋賀県大津市浜大津 5-1-1

<https://www.biwakokisen.co.jp/>

TEL 077-522-4115 FAX 077-524-7896

